



札幌中学校区パートナー校における第1回学校運営協議会開催！

5/19(火)に、札幌中、札幌小、伏古小、伏古北小の4校の学校運営協議委員の皆さんと各校の校長が札幌中に集まり、第1回学校運営協議会を行いました。

司会 札幌中教頭

1. 開会のことば
2. ご挨拶
札幌中学校 校長 田中 健児
3. 委員の任命について
4. 規約の確認
5. 代表及び副会長の確認
6. 札幌中学校区 グランドデザインについて
7. 各校学校運営等の基本方針について
札幌小→伏古小→伏古北小→札幌中
8. 今年度の取組に向けた意見交換・質疑応答
9. 閉会のことば

会の中では、今年度の札幌中学校区のグランドデザインや、各校の学校経営方針について校長先生方より説明がありました。

また、6/9(火)に開催される先生方の札幌教研春の研究集会に、学校運営協議委員の皆さんを御招待したいこともお伝えしました。



さらに、昨年度の各校の分科会における議題や方向性をもとに、今年度の二つの課題について各学校ごとに話し合いが行われました。

<伏古北小分科会での話し合い>

①さっぽろっ子自治的な活動として児童会・生徒会交流の柱である「あいさつ」についてどのように深めていけばよいか？

- ・校内では、あいさつはできている子が多いが、地域ではできない子もいる。
- ・家庭での指導により「知らない人に声を掛けられても…」とい風潮がある。
- ・みまもーる隊等、日常的に声を掛けていくと子どもたちも挨拶できるようになる。

⇒安心と繰り返す経験が必要

- ・教育課程の工夫。校外学習等で、意図的に地域の方と触れ合える場や時間を作る。
- ・「大人が範を示す」教師が率先して、地域の方々と挨拶をする姿を見せる。
- ・町内の清掃活動等への積極的な参加を促す。等

②札幌市学校教育の重点である「子どもの声を聴く」について、学校運営にどのように反映させていけばよいか？

- ・重点目標に向けた取組の一つとして、「自治的な活動の推進」を位置付けることで、全職員が意識して取り組む。
- ・学習発表会のような行事や、委員会やクラブ活動、係活動、当番活動などで子どもたちの考えや願いを引き出し、それを具現化していく活動に取り組ませていく。

⇒自分たちで考えて創り上げる活動で「達成感」そして「本物の経験」へ